

生活と社会 (Living and Society) 政治とメディア (Politics and Media)

饗場 和彦・教授/大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部

2単位 前期 金 9・10

(平成 19 年度以前の授業科目:『生活と社会』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『政治学』)

【授業の目的】 政治の一つの本質は「権力」にあるが、マス・メディアは「第 4 の権力」とも言われ、政治と密接な関係がある。また、自由な報道は国民の知る権利、思想/信条の自由をささえるため、民主的な政治制度においては不可欠であるが、他方プライバシー侵害の問題をはじめメディアに対して多くの批判もある。この授業ではこうした政治とメディアの問題について、具体的なテーマを取り上げつつ、基本的な知識と考え方を学ぶ。

【授業の概要】 政治とメディアに関する基本的な概念、考え方、関係性を理解すると同時に、具体的な問題について知識を深める。またメディアリテラシーの力もつける。授業担当者(饗場)は以前新聞記者をしていたので、その経験に基づいた視点からも解説する。国内政治、国際政治を問わず、適宜、時事ニュースも扱う。実際の新聞記事なども多く紹介する。

【キーワード】 政治, メディア, メディアリテラシー, マスコミ

【先行科目】 [先行科目]

【関連科目】 『生活と社会/国際協力論 2 -四国から世界へ 輝く瞳の作り方-』(0.5), 『生活と社会/国際政治学入門』(0.5)

【到達目標】 現代社会における政治の問題とメディアの問題について関心を深め、基礎的な知識、考え方を習得する。

【授業の計画】

1. イントロダクション
2. 政治とは何か—地球上にあなた一人しかいないなら政治は必要か(前)—
3. 政治とは何か—地球上にあなた一人しかいないなら政治は必要か(後)—
4. 新聞の読み方—各紙こんなに違う?活字を信じすぎるな(前)—
5. 新聞の読み方—各紙こんなに違う?活字を信じすぎるな(中)—
6. 新聞の読み方—各紙こんなに違う?活字を信じすぎるな(後)—
7. 政府と市民—日本は「茶色」になっている?(前)—
8. 政府と市民—日本は「茶色」になっている?(後)—
9. 戦争報道と情報操作—イラク戦争やボスニア紛争の虚実(前)—
10. 戦争報道と情報操作—イラク戦争やボスニア紛争の虚実(後)—
11. イラクの日本人質事件—なぜバッシングが起きたのか(前)—
12. イラクの日本人質事件—なぜバッシングが起きたのか(後)—

13. 戦争映画の意義—人間の本源を問いかける—(前)

14. 戦争映画の意義—人間の本源を問いかける—(後)

15. 補足と総括

【教科書】 教科書は特に指定しない。授業中に配布するレジュメや資料にしたがって講義を進める。参考書などは、たとえば以下の書籍など。『政治学がわかる。』(朝日新聞社, 2003 年), 『新マスコミ学がわかる。』(朝日新聞社, 2001 年), 高木徹『戦争広告代理店』(講談社, 2002 年), 武田徹『戦争報道』(筑摩書房, 2003 年), 北山俊哉他『はじめて出会う政治学—フリー・ライダーを超えて』(有斐閣, 2003 年)

【参考書等】 [参考資料]

【成績評価の方法】 期末の試験はあらかじめ問題を提示するので、試験日までに準備し、当日は持ち込み禁止で解答する。また、平常点として授業の取り組み姿勢と出席状況を評価する。おおむね試験 50%, 平常点 50%。

【再試験の有無】 有り。

【受講者へのメッセージ】 [注意]

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220768>

【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】

⇒ 饗場 (088-656-7186, aibak@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 木曜日13:30~14:30, 金曜日14:30~16:00。この時間以外でも在室時はいつでも可。)

【備考】 日ごろから新聞やテレビの報道に関心を持つように。

Living and Society

Politics and Media

Kazuhiko Aiba · PROFESSOR / INSTITUTE OF SOCIO-ARTS AND SCIENCES

2 units 前期 金 9・10

(平成19年度以前の授業科目:『生活と社会』)(平成16年度以前(医保は17年度以前)の授業科目:『政治学』)

Target) 政治の一つの本質は「権力」にあるが、マス・メディアは「第4の権力」とも言われ、政治と密接な関係がある。また、自由な報道は国民の知る権利、思想/信条の自由をささえるため、民主的な政治制度においては不可欠であるが、他方プライバシー侵害の問題をはじめメディアに対して多くの批判もある。この授業ではこうした政治とメディアの問題について、具体的なテーマを取り上げつつ、基本的な知識と考え方を学ぶ。

Outline) 政治とメディアに関する基本的な概念、考え方、関係性を理解すると同時に、具体的な問題について知識を深める。またメディアリテラシーの力もつける。授業担当者(饗場)は以前新聞記者をしていたので、その経験に基づいた視点からも解説する。国内政治、国際政治を問わず、適宜、時事ニュースも扱う。実際の新聞記事なども多く紹介する。

Keyword) 政治, メディア, メディアリテラシー, マスコミ

Fundamental Lecture) [先行科目]

Relational Lecture) “Living and Society/International Cooperation Studies 2” (0.5), “Living and Society/Introduction to International Politics”(0.5)

Goal) 現代社会における政治の問題とメディアの問題について関心を深め、基礎的な知識、考え方を習得する。

Schedule)

1. イントロダクション
2. 政治とは何か—地球上にあなた一人しかいないなら政治は必要か(前)—
3. 政治とは何か—地球上にあなた一人しかいないなら政治は必要か(後)—
4. 新聞の読み方—各紙こんなに違う?活字を信じすぎるな(前)—
5. 新聞の読み方—各紙こんなに違う?活字を信じすぎるな(中)—
6. 新聞の読み方—各紙こんなに違う?活字を信じすぎるな(後)—
7. 政府と市民—日本は「茶色」になっている?(前)—
8. 政府と市民—日本は「茶色」になっている?(後)—
9. 戦争報道と情報操作—イラク戦争やボスニア紛争の虚実(前)—
10. 戦争報道と情報操作—イラク戦争やボスニア紛争の虚実(後)—
11. イラクの日本人質事件—なぜバッシングが起きたのか(前)—
12. イラクの日本人質事件—なぜバッシングが起きたのか(後)—

13. 戦争映画の意義—人間の本源を問いかける—(前)

14. 戦争映画の意義—人間の本源を問いかける—(後)

15. 補足と総括

Textbook) 教科書は特に指定しない。授業中に配布するレジュメや資料にしたがって講義を進める。参考書などは、たとえば以下の書籍など。『政治学がわかる。』(朝日新聞社, 2003年), 『新マスコミ学がわかる。』(朝日新聞社, 2001年), 高木徹『戦争広告代理店』(講談社, 2002年), 武田徹『戦争報道』(筑摩書房, 2003年), 北山俊哉他『はじめて出会う政治学—フリー・ライダーを超えて』(有斐閣, 2003年)

Reference) [参考資料]

Evaluation Criteria) 期末の試験はあらかじめ問題を提示するので、試験日までには準備し、当日は持ち込み禁止で解答する。また、平常点として授業の取り組み姿勢と出席状況を評価する。おおむね試験50%, 平常点50%。

Re-evaluation) 有り。

Message) [注意]

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220768>

Contact (Office-Hour, Room, E-mail)

⇒ Aiba (+81-88-656-7186, aibak@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 木曜日13:30~14:30, 金曜日14:30~16:00. この時間以外でも在室時はいつでも可.)

Note) 日ごろから新聞やテレビの報道に関心を持つように。